

令和2年7月定例記者会見

■日時：7月7日(火)午後1時30分

■場所：イーストピアみやこ市民交流センター 多目的ホール

会見項目

1. 三陸沿岸道路「宮古中央JCT～田老真崎海岸IC」・宮古盛岡横断道路「宮古港IC～宮古中央IC」開通式について
2. 岩手県立水産科学館「第33回磯の生物展」について
3. 海水浴場の開設とジオサイトの一斉清掃について

会見内容

別紙資料1～3のとおり。

記者との質疑

＜1. 道路開通式に関すること＞

NHK

三陸沿岸道路「宮古中央JCT～田老真崎海岸IC」・宮古盛岡横断道路「宮古港IC～宮古中央IC」の開通（以下、道路開通）により、市のまちづくりにどういったメリットがあると思いますか。

市長

縦軸である三陸沿岸道路は、気仙沼から田野畑までが繋がります。また、宮古中央JCTにより宮古港と宮古盛岡横断道路が接続になります。宮古港の利便性が上がり、物流のスピードがアップするメリットがあると思います。宮古の景勝地へのアクセスも高速道路から近くなりますので、宮古市を「素通りさせない」まちづくりを進めていきたいです。

NHK

災害への備えとして、道路開通の効果はどのように考えていますか。

市長

三陸沿岸道路は津波に浸水しないエリアを通っている高規格道路です。災害に強い道路になるものと思います。

岩手日報

道路開通による「素通りされないまちづくり」のアイデアは何かありますか？

市長

例えば田老の中心地はハーフインターに挟まれていることから、道の駅たろうを「休憩所」として利用してもらえるような仕組み作りを進めています。地域住民を中心とした PR 活動も行われています。道の駅には今後、大型遊具を設置し、親子で利用したくなるエリアとするような計画もあります。インターで降りて、休憩がてら立ち寄ってもらえるような場所づくりを考えています。

岩手日報

道路開通は、現在休止となっている「宮古・室蘭フェリー航路(以下、宮蘭航路)」の再開に向けた活動にも影響があると思いますか。

市長

高速道路と直結した港を持っているのは、県内では宮古だけです。いかに交通の利便性が高くなったかを、関係者によく知ってもらいたいと思っています。港と道路の関係性をしっかりアピールしていく活動を進めていきたいです。

毎日新聞

交通網の整備が都市に発展・衰退を起こす「ストロー現象」について、今回の道路開通に関して市として調査・対応していく計画はありますか。

市長

ストロー現象自体を調査する予定はありません。ストロー現象には「吸う側」と「吸われる側」があると思うので、「吸う側」になれるよう、市の魅力をしっかり PR していきます。そのうえで、ある程度の期間が経ってから、道路開通によりどのような変化があったのかを調査する必要はあると思います。

朝日新聞

三陸沿岸道路では、野田村・普代村の区間で工事の遅れが発表されています。全体の工事の遅れについてはどう思いますか。

市長

宮蘭航路の観点でも、八戸ー宮古間が繋がることを重要視しています。道路は全て繋がって初めて効果が出てきますので、1日でも早い全線開通を望んでいます。

NHK

今回の開通区間にはハーフインターが何カ所かありますが、これらは今後、フルインター化をしていくよう、国へ要望していく予定ですか。

市長

基本はフルインター化となるよう、国に要望をしていく考えですが、田老地区のように、ハーフインターにより、市内に立ち寄ってもらいやすくなる効果が見込まれる地域もあります。今後の状況も見ながら判断していきたいです。

《2. 海水浴場の開設について》

読売新聞

新型コロナウイルス感染症対策（以下、コロナ対策）として、海水浴場の利用者は市民限定にするなど、制限を設ける予定はありますか。

市長

ありません。

読売新聞

今年開設しない蛸の浜と大須賀の海水浴場は、今後海開きをする計画はありますか。

市長

避難経路の確保など、状況を見てながら、今後判断していきます。

IBC

海水浴場開設の周知はどうやって行いますか。

市長

市広報、ホームページ等で周知していきます。

《その他、会見内容以外について》

岩手日報

7月4日に発生した九州地方を中心とした豪雨災害（以下、7月豪雨災害）への市として支援をする動きはありますか。

市長

災害時の自治体支援については、まずは全国市長会が全体の調整を行うこととなっており、今回の災害では、同じ九州地方や中国地方など、距離の近い自治体の支援から、順次検討されていくと想定されます。

被災自治体では、まだ被害状況や必要な支援についての情報が、まとまっていない段階だと思います。また、過去に宮古市が被災した場合もそうでしたが、必要な支援が物資なのか、マンパワーなのか、財政的なものなのか、時間の経過によって変わってきます。宮古市としては、全国市長会と連携を取りながら、今後の状況をみて支援を実施していきたいと考えています。

岩手日報

九州地方から宮古市への派遣職員はいますか。

市長

いません。

毎日新聞

観光シーズに到来に向け、新たなコロナ対策の実施予定はありますか。

市長

新たな対策というよりも、三密を避けたり、手洗いうがいを徹底したりといった基本的な対応を継続していきます。観光客も市民も、一人ひとりが感染予防の徹底をするよう、今後も働きかけていきたいと思っています。

毎日新聞

避難所運営におけるコロナ対策について、取り組みがあれば教えてください。

市長

長時間の避難所開設を想定した二次・三次的な避難所運営手順を考えています。7月豪雨災害を受け、市内の福祉施設の避難対応についても確認をしているところです。様々な状況での災害に対する避難方法については、常に検討しています。

三陸沿岸道路「宮古中央JCT～田老真崎海岸IC」**宮古盛岡横断道路「宮古港IC～宮古中央IC」開通式****実施要領**

1) 日時 令和2年7月12日(日) 11時00分～

2) 場所 宮古市松山地内(添付会場案内図のとおり)

3) 主催 国土交通省 東北地方整備局

岩手県

宮古市

4) 次第 挨拶

来賓祝辞

地域関係者からの期待の言葉

テープカット、くす玉開披

通り初め(パレード)

※開通式典について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般の方の参加を取りやめ関係者のみで行います。

※開通式典及び通り初めパレード終了後、16時00分に一般開放いたします。

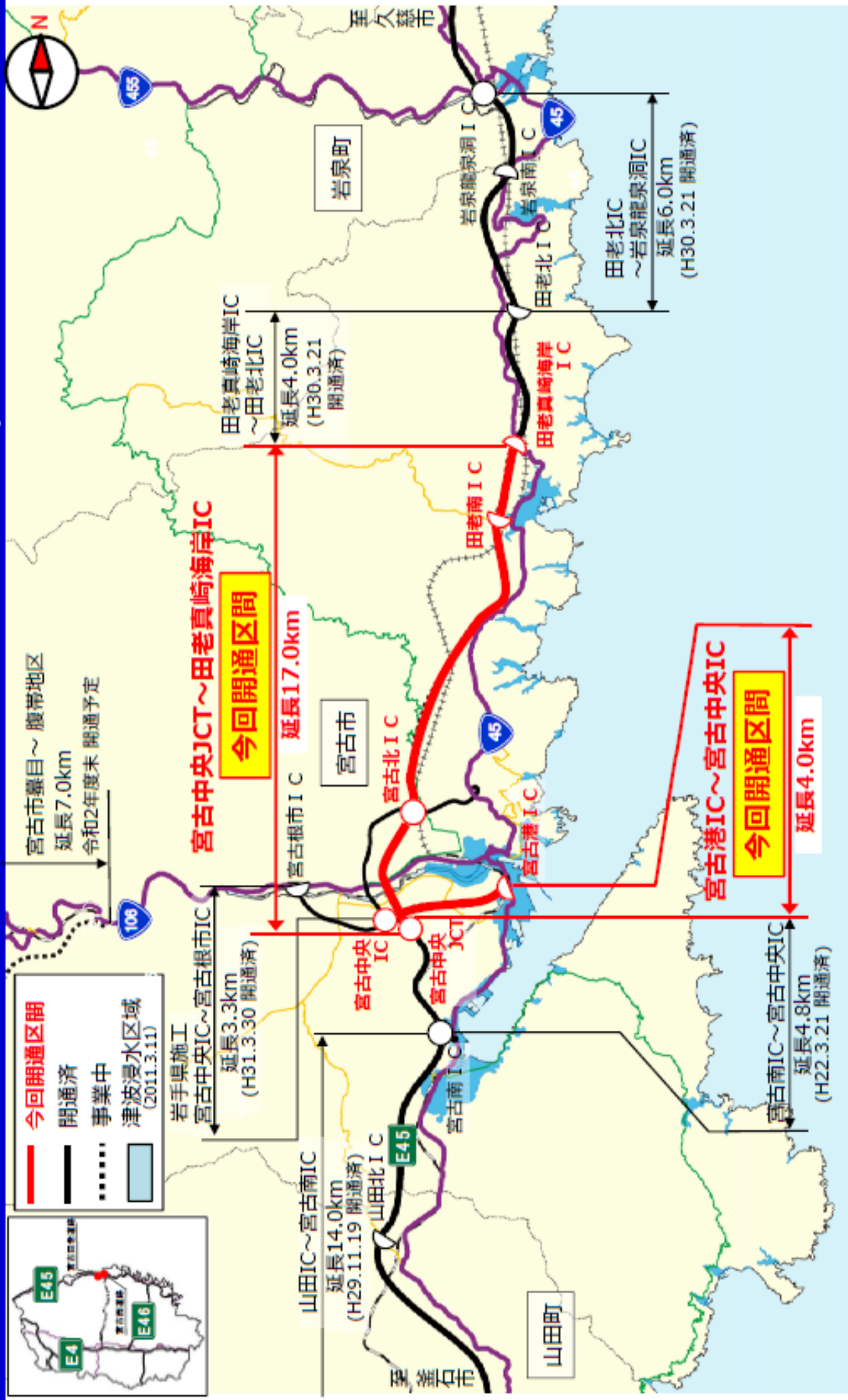
※今回開通する区間は、別添の2のとおりです。また、自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません。

※報道関係者の方は、三陸国道事務所あて事前申し込みをお願いいたします。

■問い合わせ 東北地方整備局 三陸国道事務所
電話 62-1711

三陸沿岸道路 宮古中央JCT～田老真崎海岸IC 位置図

宮古盛岡横断道路 宮古港IC～宮古中央IC



開通式典会場 案内図



岩手県立水産科学館「第33回磯の生物展」開催概要

1. 目的

通年展示している水槽の他に、特別展示室内に小型水槽を設置して、宮古近海に生息する魚介類を展示します。

普段より多くの魚介類を入館者に皆さんに見て頂くことで、海に関する興味や知識を深めてもらい、また環境保護の意識を啓発することを目的とします。

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、例年よりも規模を縮小して開催します。

2. 開催期間 令和2年7月17日(金)～8月23日(日)延べ開館日33日間

※開館時間：午前9時～午後4時30分(最終入館16時)

※開催期間中の休館日：7月20日(月)・27日(月)

8月3日(月)・11日(火)・17日(月)

3. 開催場所 岩手県立水産科学館 特別展示室

4. 主催 岩手県立水産科学館

5. 展示内容 会場内に13個の小型水槽を設置して、生きた魚介類を展示します。

※例年と異なる点

◇新型コロナウイルス感染症予防の観点から、以下のとおり規模縮小します。

- ・ 来館者の密集・密接を避けるため、水槽の数を減らします。(例年37基→今年13基)
- ・ 触っても安全な魚介類に触る「タッチプール」と箱メガネで観察をする「覗き水槽」は不特定多数の人が同じものを触ることになるので設置しません。
- ・ 短冊に願い事を書いて笹に結ぶ「お魚七夕」、魚の餌を用意して給餌作業を行う「魚のお世話をしてみよう」についても行いません。

◇小学生以下の入館者には、水産科学館特製缶バッジをプレゼントします。

6. オープニングセレモニー

日 時：令和2年7月17日(金)午前9時30分～10時

場 所：岩手県立水産科学館正面玄関前スペース

出席予定：宮古市立鯨ヶ崎小学校第3学年児童(24名)、宮古水産振興センター、宮古観光文化交流協会、宮古市、宮古市教育委員会

内 容：主催者あいさつ、来賓あいさつ、記念品贈呈、テープカット等

※参加者の立ち位置等、密な状態にならないよう配慮の上行います。

■問い合わせ 岩手県立水産科学館
電話 63-5353

令和2年度海水浴場開設要項

1. 目的

利用者に安全で快適な海水浴場を提供することを目的とする。

2. 期間

令和2年7月23日（木）から8月16日（日）まで（25日間）

3. 時間

午前8時30分から午後5時まで

4. 場所

浄土ヶ浜、藤の川、女遊戸、真崎海岸小港

5. 監視員設置人数

	浄土ヶ浜	藤の川	女遊戸	小港
平日	3名	3名	3名	2名
土日及び祝日	4名	3名	3名	2名
繁忙期の平日（※）	4名	3名	3名	2名

※8月13日、14日

6. 遊泳基準

以下の場合、遊泳不可とする（詳細は別紙参照）。

- （1）水温18℃以下または気温24度℃以下である場合
- （2）注意報または警報が発令されている場合
- （3）その他、特別な事情により市が遊泳不可と判断した場合

7. 海水浴場監視員等業務

- （1）監視員等は出勤前に検温し、発熱、風邪等の症状がある場合は勤務しないこと。
- （2）マスク又はフェイスシールドを着用し監視業務にあたること。また、熱中症対策を行うこと。
- （3）1時間に1回巡回し、利用者間のソーシャルディスタンス確保のための注意喚起を行うこと。
- （4）発熱等の体調不良者が発生した際には対応する者は感染対策を徹底し、適切に対応すること。また、体調不良者の情報（氏名、住所、連絡先）を記録に残すこと。
- （5）飲食物等のゴミを処分する際は直接触れず、ゴミ袋をしっかりと縛り封をし、処理すること。
- （6）更衣室、トイレ等を1時間に1回程度消毒すること。

8. スケジュール

- （1）6月下旬 海水浴場運營業務及び海水浴場トイレ清掃業務委託の施行
- （2）7月上旬 7月市長定例記者会見
海水浴場運營業務委託及び海水浴場トイレ清掃業務委託の契約締結
関係者打合せ会議
- （3）7月中旬 広報みやこ7月15日号記事掲載
- （4）開設初日 ・警察官警戒所開所式

海水浴場入込数

(単位:人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
浄土ヶ浜	36,866	44,580	45,966		40,375	39,327	45,396	46,387	48,180	38,933	53,513	64,993
藤の川	7,144	6,624	8,926		4,612	5,988	5,565	6,702	7,216	—	—	3,890
女遊戸	5,303	4,901	5,192		—	—	—	—	—	—	—	2,256
真崎海岸	5,046	3,473	3,868		—	—	—	—	—	—	—	2,634
蛸の浜	3,663	2,805	4,037		—	—	—	—	—	—	—	—
大須賀	1,790	1,564	2,208		—	—	—	—	—	—	—	—
合計	59,812	63,947	70,197		44,987	45,315	50,961	53,089	55,396	38,933	53,513	73,773
前年比		107%	110%		64%	101%	112%	104%	104%	70%	137%	138%

※ 震災により開設中止

令和2年度三王・真崎地区一斉清掃 開催要項

1. 目的

三陸ジオパーク・ジオサイトである「三王岩」周辺の園地内と、海水浴場を開設する真崎海岸（小港海岸）を、関係者及び市民の協力を得ながら清掃を行うことで、環境保全意識の向上及び三陸ジオパークをより広く普及させることを目的とする。

2. 主催

三王・真崎をきれいにする会、宮古市三陸ジオパーク推進協議会、宮古市

3. 日時

令和2年7月11日(土) 【開会～清掃活動】 午前10時00分から午前11時15分まで
【ジオ解説～閉会】 午前11時30分から正午まで

4. 場所

三王園地及び真崎海岸小港海水浴場

※当日は、午前9時45分までに真崎海岸小港海水浴場に集合。

5. 次第

(1) 開会（真崎海岸）

主催者あいさつ、ジオサイト解説講師紹介、清掃内容の説明等

※開会后、三王園地清掃グループは各自移動

(2) 清掃（三王園地、真崎海岸）

三王園地、小港海水浴場周辺のゴミ拾い ※清掃後、三王園地に集合

(3) ジオ解説（三王園地）

「ジオサイト・三王岩について」講師：柳澤忠昭先生

6. 参加対象

関係者（主催団体、自然公園保護管理員等）、市民（広報7月1日号で募集）

7. その他

- (1) 各自マスクを着用し、動きやすい服装で参加（軍手・ゴミ袋等は主催者が準備）
- (2) 悪天候等の場合は中止とし、当日午前8時30分までに電話・FAXで連絡する。

令和2年度 自然公園クリーン作戦 開催要項

1. 目的

三陸ジオパーク・ジオサイトである「浄土ヶ浜」を、海水浴場を開設するにあたり、関係者及び市民の協力を得ながら清掃を行うことで、環境保全意識の向上及び三陸ジオパークをより広く普及させることを目的とする。

2. 主催

浄土ヶ浜をきれいにする会、宮古市三陸ジオパーク推進協議会、宮古市

3. 日時

令和2年7月18日(土) 【開会～清掃活動】 午前10時00分から午前11時15分まで
【ジオ解説～閉会】 午前11時30分から正午まで

4. 場所

浄土ヶ浜園地

※当日は、午前9時45分までに浄土ヶ浜レストハウス前に集合。

5. 次第

- (1) 開会 主催者あいさつ、ジオサイト解説講師紹介、清掃内容の説明等
- (2) 清掃 浄土ヶ浜園地内のゴミの収集
- (3) ジオ解説
「ジオサイト・浄土ヶ浜について」講師：浄土ヶ浜ビジターセンター事務局員

6. 参加対象

関係者（主催団体、自然公園保護管理員等）、市民（広報7月1日号で募集）

7. その他

- (1) 各自マスクを着用し、動きやすい服装で参加（軍手・ごみ袋等は主催者が準備）
- (2) 悪天候等の場合は中止とし、当日午前8時30分までに電話・FAXで連絡する。

一斉清掃 過去の参加者数

1. 三王・真崎地区一斉清掃

年 度	参加者数
R 1	80名
H 3 0	(雨天により中止)
H 2 9	59名
H 2 8	53名
H 2 7	18名
H 2 6	20名
H 2 5	17名
H 2 4	—
H 2 3	—
H 2 2	6名
H 2 1	9名
H 2 0	25名
H 1 9	22名

2. 自然公園クリーン作戦（浄土ヶ浜一斉清掃）

年 度	浄土ヶ浜クリーン作戦 参加者数	自然公園クリーン作戦 参加者数
R 2	(新型コロナウイルス 感染防止のため延期)	
H 3 1	250名	120名
H 3 0	(雨天により中止)	133名
H 2 9	84名	157名
H 2 8	53名	140名
H 2 7	53名	112名
H 2 6	44名	130名
H 2 5	44名	(雨天により中止)
H 2 4	50名	110名
H 2 3	36名	76名
H 2 2	35名	108名